
2017年2月

有機農産物の小分け業者

基本

緊急講習会開催要項

農林水産省登録認定機関登録第17号
特定非営利活動法人日本有機農業生産団体中央会

期日 2017年2月16日

会場 東京千代田区

午前：麹町区民館、午後：四番町集会室

定員 10人程度

一、参加及びこの講習会の法的な位置づけについて

この講習会は、緊急に開催するものですが、有機農産物の小分け業者に限り、必要な事項は網羅して開催するものです。

この講習会は、有機農産物の小分け業者に限定したプログラムとなっています。このため、有機農産物の小分け業者の小分け責任者及び格付表示担当者になるための資格要件を付与することができます。加工の小分け、農産加工を問わず生産行程管理者にかかわる資格については付与することができません。

資格の付与の条件は、以下の通り。

- ①すべての講義の受講
- ②演習の実施
- ③修了後のレポートの提出

二、プログラム

<2月16日> (木)

受付開始 午前10時

開会 午前10時15分

ガイダンス 午前10時15分から10時30分

1、有機認証制度とJAS法の決めていること

午前10時30分から正午

昼食休憩 正午から午後1時

演習 有機認証制度の理解

午後1時から1時30分

2. 有機農産物の日本農林規格解説（2016年2月改正告示）：小分け業者向け

午後1時30分から午後2時50分

有機中央会 事務局

休憩 午後2時50分から午後3時

演習：有機農産物 JAS 規格の理解

午後3時から3時40分

演習：規格第4条収穫以後の工程の管理の基準を小分けの行程管理に適用

午後3時40分から午後4時10分

3. 農産物及び有機農産物の表示

有機中央会 事務局

午後4時10分から午後5時

演習：表示の作成

午後5時から5時30分

休憩 20分

4. 有機農産物についての小分け業者の認定の技術的基準解説

有機中央会 事務局

午後5時50分から午後7時

演習：認定の技術的基準の理解及びその講評

午後7時から7時50分

5. 修了申請レポート等の説明及び閉会

午後7時50分から午後8時

午後8時終了予定

三. 予習課題（1日の集中した講習になるため必ずお願いします）

参加者は、以下の基準を農林水産省のホームページから取得し、最低2回以上読んでおいてください。

- ①有機農産物の日本農林規格
- ②有機農産物、有機加工食品、有機畜産物及び有機飼料についての生産行程管理者及び外国生産行程管理者の認定の技術的基準

以上

会場案内



●住所：〒102-0083 麹町 2-8 *麹町小学校といっしょです。

●交通アクセス

東京メトロ半蔵門線半蔵門駅から徒歩5分

東京メトロ有楽町線麹町駅から徒歩5分

都営バス麹町2丁目から徒歩5分

有機農産物の小分け業者：基本

参加申込書

2017年2月16日（木）

1、参加者（受講修了書の関係がありますので、お一人一枚。）

氏名	
住所	
所属団体名、会社名	
電話	
ファクシミリ	
電子メール	

2、業務の区分（該当項目を○で囲む）

有機農産物の生産行程管理者（認定取得済み） 有機栽培生産者（認定これから）
特別栽培生産者 青果物卸業 青果物販売業 米販売業 肥料販売業
有機加工食品の生産行程管理者、有機加工食品の小分け業者

3、参加の区分 基本

4. 受講費用

次頁の受講費用を参照し、該当する金額をお振込みでお願いします。振り込み手数料は、貴方の負担でお願いします。

5. 申し込み方法

①参加申込書に必要事項を記載し、ファックスもしくは電子メールで申し込んでください。必ず会社で取りまとめてください。

②締切りは、2017年2月14日です。ただし、定員になりしだい締切ります。

④宿泊、食事などは、ご自分で手配をお願いします。費用には、含んでいません。

申し込み先

ファックス 03-5812-7370 電子メール

jimukyoku@yu-ki.or.jp

受講費用振込み先

<郵便局> 00140-8-144381 日本有機農業生産団体中央会

2017年2月 有機農産物の小分け業者緊急講習会

<銀行> 三菱東京UFJ銀行 秋葉原支店 普通口座 5020304
特定非営利活動法人日本有機農業生産団体中央会 理事 齋藤修

受講費用

●1日講習会

区分		受講費用
小分け業者基本講習会	会員	9,720 円
	非会員	13,025 円

*受講費用には消費税8%が含まれます。

*この費用は有機中央会の講習会規程にもとづく全国統一の費用です。

*宿泊、食事等の費用は含みませんので、各自ご手配ください。

以上